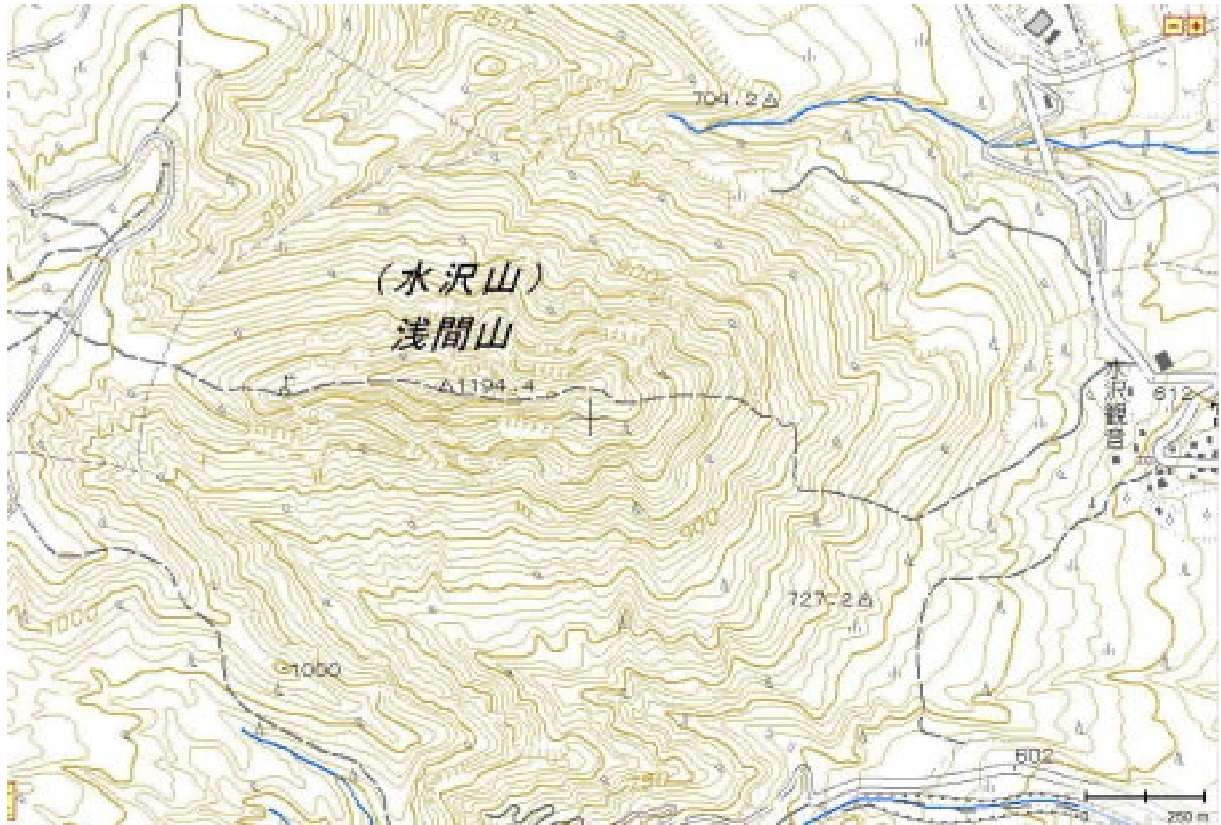


## 水沢山(1194m)

国土地理院地図閲覧サービスから



水沢山は地図上では浅間山とありますが、地元では水沢山(みずさわやま)と呼ばれています。ふもとの水沢寺からの登山が一般的で、標高差は約580メートルありますが、森林公園(地図の左端)の道路からでは130メートル程度です。時間的には、水沢観音からは2時間~2時間半、森林公園からでは20分~30分程度です。

今回は、森林公園からのコースを紹介します。



伊香保温泉から榛名湖方面に車で向かって約15分、スケートリンク方面に左折します。

約1.5キロメートルで左に森林公園の管理棟があります。その先のY字路を右に向かって約1キロメートルの所に登山口があります。駐車場は2カ所あり、15台くらい止められます。

登山口から10分くらいこのような道が続きます。

「熊注意」の標識がありますが、鈴やラジオなどの音を出していた方が無難でしょう。話をしながらの登山も可能なくらい楽な山道ですので、ワイワイ言いながらの登山も効果的で楽しいものです。



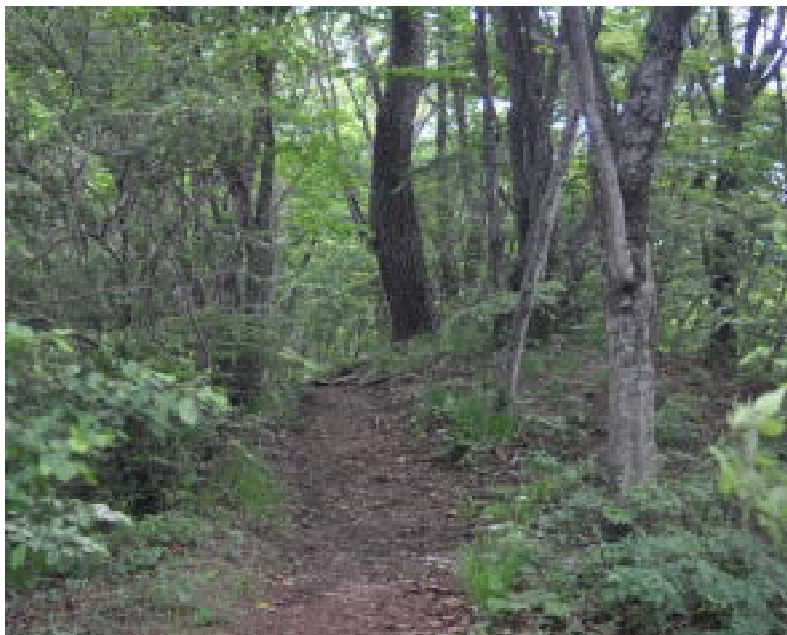
登山口から15分程度で尾根に出ます。

関東平野方面が望めます。尾根の右には防災無線の中継所があります。山頂へは左に進みます。すぐに山頂に着いてしまうのではという錯覚を感じますが、この地点で標高1120メートルくらいなので、約半分の道のりです。

水沢山は、関東平野に向かって尾根が突き出たように聳っていますが、この地点が尾根の始まりと言ってよいでしょう。

この辺りは、山菜やキノコ採りもできそうな山道が少し続きます。

晴れていれば、真夏に昼寝をしたくなるようなすがすがしさを感じます。



道は次第に険しくなってきます。両側は傾斜のきつい斜面ですが樹木が生い茂っているため不安は感じません。道に根っこが張っているのので、足下には注意が必要です。

この辺りから、険しい斜面が見えてきます。場所によっては両側が切り立っている尾根の細い道もありますが、やはり樹木が茂っているの不安は感じません。





深山・幽谷を感じさせる風景が連続します。

榛名山は火山であり、最後の噴火は西暦600年頃と推測されています。水沢山も隣の二ツ岳も、榛名山一帯の山々は火山の風貌を持っています。

下の写真は山頂です。

360度の視界は壮観です。

正面に赤城山が聳え、関東平野、上越国境の山々、榛名山の各山々も見え、ずっと留まっていたい衝動に駆られます。

山頂では、水沢寺から来たという何組かのグループに出会いました。

